

参加費  
無料

定員 :250 名

京都大学公共政策大学院・読売新聞社共催シンポジウム

# 政治主導時代における 行政官の役割

## 2019.12.7 土

**時間** 13:30 ~ 16:30 (開場 13:00)

**場所** 国際科学イノベーション棟 5F  
シンポジウムホール

京都府京都市左京区吉田本町(京都大学吉田キャンパス本部構内)



### プログラム

#### 第1部

13:30	<b>ご挨拶</b> 岩本武和 京都大学公共政策大学院長
13:35	<b>趣旨説明</b> 鈴木基史 京都大学公共政策大学院教授
13:45	<b>基調講演</b>
	「政治主導は本物か? - 永田町対霞ヶ関」 伊藤俊行 読売新聞東京本社 編集局次長兼政治部長
	「行政官は何を担うのか? - 国際比較も踏まえて」 嶋田博子 京都大学公共政策大学院教授
15:10~15:30	休憩

#### 第2部

15:30~16:30	<b>ラウンドテーブル</b> 司会進行: 大川順 京都大学公共政策大学院 2 回生
	伊藤俊行 読売新聞東京本社編集局次長兼政治部長
	嶋田博子 京都大学公共政策大学院教授
	石若寿秀 国際通貨基金(IMF) アジア太平洋地域事務所 エコノミスト(京都大学公共政策大学院 3 期生)
	住田光世 経済産業省 製造産業局ものづくり政策審議室 課長補佐(京都大学公共政策大学院 7 期生)

### 申込方法

2019年12月5日迄に以下のリンクより参加登録ください。

URL <https://ws.formzu.net/sfgen/S64362215/>



### お問合せ

EメールかFAX でご連絡ください。

京都大学法学研究科公共政策大学院掛

FAX 075-753-3104

kyomu033@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

# 政治主導時代における行政官の役割

2019.12.7 土 13:30 ~ 16:30 (開場 13:00)

## シンポジウムテーマ

- (1)日本における「政治主導」の虚実と行政官の役割の変化
- (2)グローバル化とポストトゥルース(ポスト真実)の時代における政官関係
- (3)今後の行政官に要求される能力・資質



**伊藤俊行** 読売新聞東京本社 編集局次長兼政治部長

1964年東京生まれ。1988年早稲田大学第一文学部卒業、同年読売新聞社入社。金沢支局、92年東京本社、93年政治部(官邸、自民党、外務省を担当)、97年ハーバード大学国際関係センター日米プログラム研究員、98年政治部(自民党、民主党、官邸、外務省を担当)、03年ワシントン支局、05年政治部(自民党、外務省、官邸を担当)、07年政治部デスク(外交・安全保障、政局、選挙を担当)、11年政治部筆頭次長、調査研究本部研究員、12年編集委員兼調査本部研究員、15年メディア局編集委員、16年編集委員兼調査研究本部主任研究員、17年国際部長、18年より現職。



**嶋田博子** 京都大学公共政策大学院教授

1964年生まれ。1986年京都大学法学部卒業、人事院入庁。在英国長期在外研究員、総務庁人事局参事官補佐、外務省在ジュネーブ日本政府代表部一等書記官、立命館大学公務研究科教授、人事院事務総局総務課長、同給与局次長、人材局審議官等を経て、2019年4月から現職。  
Oxford大学 M.A.(哲学・政治・経済学)。  
近著に『政治主導下の官僚の中立性』(2020年慈学社より刊行予定)。



**石若寿秀** 国際通貨基金(IMF) アジア太平洋地域事務所 エコノミスト(3期生)

神戸市生まれ。関西学院大学文学部心理科卒。財務省入省後、主計局での勤務や金融検査の経験を経て、2008年に人事院国内研究員として、京都大学公共政策大学院に入学、2010年修了。その後、理財局、内閣官房での勤務やハーバード大学国際問題研究所客員研究員を経て現職。理財局(政府出資室)では、2015年11月の日本郵政IPOを主導し、ハーバード大学においても日米のIPO・PO市場についての研究に従事。



**住田光世** 経済産業省 製造産業局ものづくり政策審議室 課長補佐(7期生)

1989年広島生まれ。2012年京都大学法学部卒業後、京都大学公共政策大学院に7期生として入学、2014年修了。同年経済産業省に入省し、中小企業庁調査室で中小企業白書を担当。2016年から内閣官房日本経済再生事務局において成長戦略(農林水産業、イノベーション・ベンチャー分野)を担当し、2018年より現職。ものづくり白書や製造産業局の新政策、スマート製造分野における人材育成、国際協力等を担当。